

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染がインフルエンザの感染のような扱いになり、観光客数も増えるとみている。
	◎	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス感染者数が再度増加に転じなければ、徐々に景気は回復していくと考える。
	◎	コンビニ（副店長）	・新型コロナウイルス感染防止のための行動制限の緩和や、国内外の移動制限の緩和も受け、今後も来客数は増加すると期待する。
	○	百貨店（店舗企画）	・今月は新型コロナウイルス感染者数が高止まりするなかで集客拡大となり、今後、徐々に新規感染者数が減少していく傾向もあるため、更なる集客に期待している。
	○	スーパー（企画担当）	・6月中に沖縄でも外国人観光客の受け入れが再開されれば、県内の消費も活発になるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・政府の新型コロナウイルスに関する方針も経済重視にかじを切り、少しずつ制限が緩和されてきているので、戦争の影響で様々な値上げの波があるが、良くなるのではないかと。
	○	家電量販店（営業担当）	・前年は、天候、気温に恵まれず単価の高いエアコンが伸びなかった。例年並みの天候、気温であればエアコンが大きく伸長する可能性が高い。ただ新型コロナウイルスの感染が広がっており、来客数の伸びは不透明である。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・また新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているので不安はあるが、希望的観測でこれより悪くはならないとみている。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光に関する新型コロナウイルス対策の基準が緩和されてくるに従い、国内、インバウンドの観光客数の増加が期待できるが、2年もステイホームに慣らされた地元客は戻るのに時間が掛かりそうである。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊の予約が増えている。夏休みにも入るので更に増えると予想される。飲食に関してはまだ予約状況が鈍い。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスも収まってきており、新商品の発売も続くのでやや市場は活気付くのではないかと期待している。
	○	観光名所（職員）	・行動制限を出さない政策に傾き出したことで期待できる。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は、夏季繁忙期を中心に好調に推移しており、また今後は国際線再開等の明るい材料もあり受注増加が期待できる。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルスもなかなか収まらないなか、爆発的に復調する要素が見当たらない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・建築単価の上昇による受注減少や建築商品の納品遅れによる工期遅れなどが懸念される。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・今月は少し期待していたが、思いの外悪い状態が続く、前月よりも売上が悪い状態である。あらゆるものが値上がりしている影響で、景気は悪い状態が続くとみている。
▲	乗用車販売店（経理担当）	・昨今の社会情勢の変化が購買意欲に表れてくるのではないかと。商品も供給不足である。	
▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの5月の販売室数は前年比67%増加なのに対し、5月末時点での8月の予約室数は前年比44%増加と、プラス幅が小さくなっている。	
▲	住宅販売会社（役員）	・世界情勢、コロナ禍の影響やウッドショック等により建築費が高騰しており、住宅関連の動きが鈍くなるとみている。	
×	商店街（代表者）	・沖縄の新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりが続いている。新規感染者数が改善されない限りは、売上が上がるには大変厳しい状況である。1日も早く新型コロナウイルスの感染が収束するのを期待している。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	輸送業（経営企画室）	・更なる物価の上昇により、消費者の消費行動が落ち込み、発注量の減少が懸念される。しかし、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、マスクの着用緩和や海外の観光客の受入れ再開などで、観光や商業施設などの動きが活発化して、景気がやや良くなると期待したい。
	□	食料品製造業（役員）	・これまで同様、しばらくは売上は徐々に新型コロナウイルス発生前に戻っていくとみているが、資材の輸入が多い中小企業については、円安を始めとして原価高による中身の薄い状況が続くとみている。早く円高になってほしい。

	□	窯業土石業（取締役）	・受注量、生産量は当面の間、現状が続くと予想するが、原材料の価格高騰により収益悪化が懸念される。
	□	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門では石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化しており、民需部門では宮古島のホテル等での回復がみられる。軽石問題は軽減されたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新変異株の脅威が発生していることと、ウクライナ問題や円安問題による燃料費や食糧費を始めとした物価の上昇の影響が懸念される。
	▲	建設業（経営者）	・見込み度の高い、真剣な客が相談に来ることが少なくなっている。
	▲	広告代理店（営業担当）	・終息がみえない新型コロナウイルス感染や原材料の価格高騰などの影響で、県内企業が販促費を抑える動きがあり、景気の先行きは厳しくなるとみている。
	×	会計事務所（所長）	・ウクライナ情勢、コロナ禍、円安の問題がしばらく続きそうである。
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・徐々に新型コロナウイルス新規感染者数も減り、観光業に動きが出てくる。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・従来であれば、夏シーズン中は求人数が比較的減少する時期ではあるが、企業の採用意欲は続くと考えており、微増又はほぼ同数だとみている。
	○	職業安定所（職員）	・宿泊、飲食サービス業などの夏に向けて採用活動の増加が見込まれる。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・どこに行っても人出は増えているが、物価の上昇により、買い渋りが増えそうである。
	□	学校 [専門学校]（就職担当）	・これから夏に向けて、IT系求人がほぼなくなり、その代わりに他分野の求人が増えてくるため、トータルで考えると今後も変わらないと見通している。
	□	学校 [大学]（就職支援担当）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響を受けながら、徐々に回復するのではないかとみている。
	▲	—	—
×	—	—	